

# 明石市釜谷池群におけるため池保全の取組みについて

## The action of taking care of Kamatani irrigation ponds in Akashi City

藤本 久雄  
FUJIMOTO Hisao

### 1. はじめに

兵庫県南部は瀬戸内海式気候帯に位置し、少雨のため農業用水の確保を目的に7世紀頃より多くのため池が築造されてきた。このような農業用ため池は県内に43千箇所を数え(全国1位)、地域農業の貴重な用水源として大切に利用されている。

ところが近年、農家の高齢化等により管理が粗放化されたり、生活排水等が流入して水質悪化や悪臭が生じたり、ゴミが不法に投棄されて地域の迷惑施設になってしまったため池も出現しており、ため池を適切に維持管理することが大きな課題となっている。

本講演では、明石市北部に位置する釜谷池及び3つの重ね池(以下釜谷池群という)において、施設管理者である中之番水利組合とため池に隣接する新興住宅地住民が協働して取り組んでいる、ため池の維持保全活動について報告する。

### 2. 兵庫県内におけるため池保全の流れ

兵庫県では当初、S26に「ため池の保全に関する条例」を施行して以後、「豊かな村を災害から守る月間」(S41~)や「ため池管理者に対する知事感謝」(S55~)など、管理者に対する取組みを行ってきた。

その後平成に入り環境への関心が高まるなか、ため池クリーンキャンペーンを実施(H4~)して快適なため池環境の保全に取り組むこととしたほか、H2からは老朽ため池の改修工事に併せて利活用保全工事にも着手し、多目的利用を促進したり生態系の保存にも配慮するようになった。

H10.3には、ため池の多面的機能に着目し、農業者と地域住民等が一体となったため池の保全・整備に取り組む、参加と連携を支える組織作りを行なうことにより、ため池が適切に管理され永続的に保全されることを目指して、『兵庫県ため池整備構想』を策定し、県下各地で着実な活動を実施してきた。

H14には県東播磨地域(明石市、加古川市、高砂市、加古郡稲美町、加古郡播磨町)において『いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクト』がスタートし、地域のため池や農業用水路を中心として周辺の景観を“水辺を主役とした博物館”に見立て、それらの保全活動を通して新たなふるさとづくりを行なうこととした。

### 3. 明石市釜谷池群におけるため池保全に向けた地域の取組み

明石市北部に位置する釜谷池群は、受益面積35haを擁する地域の貴重な農業用水源である。約30年前よりため池の西側に大規模な住宅団地が開発され、周辺地域は急激に

---

兵庫県加古川流域土地改良事務所 Kakogawaryuiki Land Improvement Office, Hyogo

キーワード : ため池 いなみ野ため池ミュージアム ため池協議会

混住化がすすんでいる。近年は周辺住民により散策道や魚釣り、豊かな自然環境の場として大いに活用される一方、ゴミが不法に投棄されるなどの問題も発生していた。

このため、当地区ではH9から毎年1回、ため池管理者である中之番水利組合と高丘地区住民（非農家）の協働によりため池クリーンキャンペーンを開催し、ため池及び周辺の清掃に取り組むこととした。H21は約150名の参加者のもと、広大なため池周辺をきれいに草刈及びゴミの收拾を行なった。

このようななかで、H14.9には貴重な自然と水辺空間を次世代に残していくために釜谷池を保全・整備することを目的として、中之番水利組合員と高丘地区に居住する者等により、釜谷池協議会が設立された。

本協議会では、ため池クリーンキャンペーンによる保全活動を行なうほか、周回道路への桜の植樹や花見会を行なって農業者と周辺住民との新たな地域コミュニティを構築して親睦を深めるほか、野鳥観察会などさまざまなイベントを開催するとともに、協議会だよりの発行や役員会を開催し、ため池の維持管理と環境保全に取り組んでいるところである。

また、H20からは明石市立高丘東小学校の自然体験学習に釜谷池群を提供し、自然観察と併せてため池についての講義をおこない、ため池の保全を継承する取組みも行なった。

さらに、H19から着手しているため池等整備事業の実施にあたっては、改修に併せおこなうため池利活用保全整備工事について、本協議会でアンケートの実施や役員会などをもとに整備計画を作成し、ため池のさらなる活用を目指している。

一方、協議会役員会での協議を重ねる中で、管理手間の増大や役員の負担増などさまざまな問題点も明らかになってきたため、ため池の維持管理や周辺環境の保全に係る課題を整理し、関係者の参画により解決策を明らかにする保全構想を作ることとしている。

#### 4. まとめ

発表の事例では、農業者と地域住民が一体となったため池の保全活動が良好な成果を挙げている。一方で活動の継続に幾つかの問題も明らかになってきたことから、ワークショップなどを通して、良好な維持管理が将来に渡り継続されるよう、取り組む必要がある。

また、「いなみ野ため池ミュージアム」の取組みを県下全域に拡大していき、県下のため池がいつまでも大切に保全されるよう努めていきたい。



写真 - 1 釜谷池群



写真 - 2 ため池クリーンキャンペーン